

手元で読めて 手軽

パソコンより安価 発熱もなし



携帯型ゲーム機は字の色や背景、大きさも読みやすいように設定できる



東京都台東区立柏葉中では、難聴学級に通う生徒にPSPを貸し出し、朝礼や行事の時に活用している＝同校提供

宮下さんは「演劇や映画館など字幕のない公衆の場はもちろん、結婚式などでも周りを意識せずに見ることができるので、多くの場で活用してほしい」と話している。

【時田備憲】



NAVIGATOR

携帯型ゲーム機で 字幕表示。メリットは。

携帯型ゲーム機を活用し、聴覚障害者に手軽に字幕を読んでもらう取り組みが東京都内の学校などで進んでいる。「周りを気にしないから気が楽」「手元で読めるし、持ち運びも簡単」と好評だ。健聴者と比べて情報格差が指摘される中、身近な「情報保障」の手段として期待されている。

考察したのは、都内で手話通訳をする宮下あけみさん。「朝礼や演劇で

要約筆記を無線受信

手軽に字幕を読む方法はないか。そう数年前から考えていた宮下さんは、多くの子どもが持つ携帯型ゲーム機に着目。話した内容を要約して文字で伝える要約筆記通訳者で、リアルタイムでパソコン入力した文字をブラウザ（ウェブページ閲覧ソフト）で読み取るソフト「Ptalk R broadcaster」を開発した森直之さん（27）＝静岡県裾野市＝に

相談した。試行錯誤の結果、ソニー・コンピュータエンタテインメントの「プレイステーション・ポータブル（PSP）」で実験に成功。PSPは、ケーブルをつなぐに電波で文字や音声、画像データをやり取りする無線LAN（域内情報通信網）を内蔵し、ブラウザも標準装備しており、字幕表示に適していた。任天堂の「ニンテンドーDS」は付属品が必要なことから、「誰でも気軽に使える」という点で、PSPが最も実用的という。

従来は聴覚障害者が参加する講演会などの会場では、パソコンと接続したスクリーンを設置し、抱え、無線LANで画面に流れる要約筆記を読んでいたが、昨年12月から、学校側が購入したPSPを生徒に貸与。軽いし、熱を持たない」と好評なうえ、パソコンに比べて学校側が購入したPSP

文字を打ち出してきたが、「broadcaster」を備えた携帯型ゲーム機なら手元で文字を読むことが可能。一度表示した文字を読み返すこともでき、聴覚障害者が少ない会場でも要約筆記を受け入れやすいメリットが見込まれる。